

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の進行管理（令和 5 年度実績）について

前回（廃棄物減量等推進審議会（第 82 回））にて、いただいた意見等をふまえて修正いたしました。

修正前	修正後
P 9 ⑨生ごみ等減量化処理機器を購入する市民に対する補助制度 ・電動型生ごみ処理機 150 基、EM 処理容器 17 基、コンポスト容器 36 基、小枝粉碎機 15 基の購入費を補助しました（非電動型生ごみ処理機は購入額の 4 分の 3、電動型生ごみ処理機・小枝粉碎機は購入額の 2 分の 1、いずれも限度額 3 万円）。	P 9 ⑨生ごみ等減量化処理機器を購入する市民に対する補助制度 ・電動型生ごみ処理機 150 基、EM 処理容器 17 基、コンポスト容器 36 基、小枝粉碎機 15 基の購入費を補助しました（非電動型生ごみ処理機は購入額の 4 分の 3、電動型生ごみ処理機・小枝粉碎機は購入額の 2 分の 1、いずれも限度額 3 万円）。
P11 （５）高齢者等のごみ出し支援 【取組実績】 高齢者等ごみ出し支援収集の制度の概要	P11 （５）高齢者等のごみ出し支援 【取組実績】 高齢者等支援収集制度の概要
P26 別添資料 5 県内 19 市のごみ処理経費（令和 4 年度実績） 注 1）三浦市は、埋立量が 58 t と少なく、最終処分経費が 84,059 千円あり、藤沢市は、埋立量が 100 t と少なく、最終処分経費が 145,716 千円あるため単価が高くなっている。	P26 別添資料 5 県内 19 市のごみ処理経費（令和 4 年度実績） 注 1）藤沢市は、廃棄物のうち最終処分される割合が少なく、三浦市は、ごみ処理及び維持管理費の総額に対する最終処分費の割合が多いため、最終処分（埋立）経費の単価が高くなっている。